

小浜貴船区防災マップ

計画規模

大雨時にとるべき行動

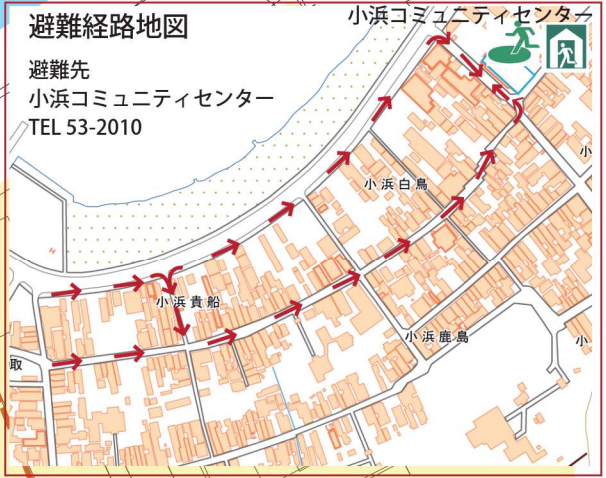
情報の種類と行動の目安

小浜市では住民の皆様の避難が必要と判断した場合、その緊急度に合わせて避難情報を発令します。市から発表される情報に注意してください。
災害時に支援の必要な方が近くにおられる場合は、お互いに助け合って避難しましょう。

避難情報など		防災気象情報	
警戒レベル	避難行動など	避難情報など	警戒レベル相当情報(例)
警戒レベル 5 危険な場所から全員避難	既に災害が発生している状況です。命を守るための最善の行動をとりましょう。	緊急安全確保 災害が発生していることを把握した場合に、可能な範囲で発令 小浜市が発令	(国土交通省、気象庁、都道府県が発令) 警戒レベル5相当情報 犯犯発生情報 大雨特別警報 など
警戒レベル 4 危険な場所から全員避難	速やかに避難先へ避難しましょう。 公的な避難場所までの移動が危険と思われる場合は、近くの安全な場所や、自宅内のより安全な場所に避難しましょう。	避難指示 地域の状況に応じて緊急的又は重要な避難を促す場合に発令 小浜市が発令	警戒レベル4相当情報 犯犯発生情報 土砂災害警戒情報 など
警戒レベル 3 危険な場所から高齢者等の避難	避難に時間を要する人(高齢者の方、障がいのある方、乳幼児など)とその支援者は避難をしましょう。その他の人は、避難の準備を整えましょう。	高齢者等避難 小浜市が発令	警戒レベル3相当情報 犯犯警戒情報 洪水警報 など
警戒レベル 2	避難に備え、ハザードマップなどにより、自らの避難行動を確認しましょう。	洪水注意報 大雨注意報 など 気象庁が発令	
警戒レベル 1	災害への心構えを高めましょう。	早期注意情報 気象庁が発令	

※各種の情報は、警戒レベル1～5の順番で発表されるとは限りません。状況が急変することもあります。

警戒レベル5では既に災害が発生しています。また、必ず発令されるものではありません。
警戒レベル3や**警戒レベル4**で、
地域の皆さんで声を掛けあって、安全・確実に全員避難しましょう。



適切な避難行動

避難行動には、1) 立退き避難(水平避難)、2) 立退き避難(垂直避難)をするほか、3) 2階以上の高いところへ避難する(屋内避難)があります。

- 立退き避難(水平避難)**
避難所へ避難する
- 立退き避難(垂直避難)**
避難場所へ避難する
- 屋内避難**
避難場所へ避難する

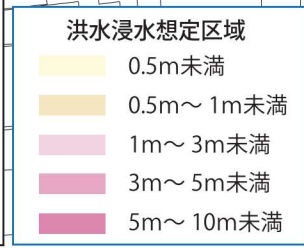
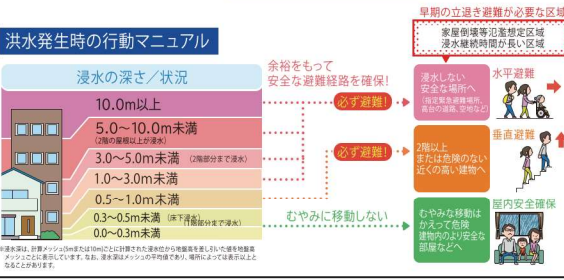
避難時の心得

- 火元(コンロ、暖房器具、タバコ、線香など)と距離を確保し、電線は1メートル以上離れて避難し、避難する際は避難する場所を確認してください。
- 動きやすい服装で、必要最小限の荷物を持ち、2人以上で避難しましょう。
- 深さ30cmを超えると自動車は浮き上がりやすくなります。

大雨によって発生する災害・被害

- 内水氾濫**: 大雨により、河川の水位が上昇することで、下水道が溢れ、排水が滞り、水があふれ出す現象(内水氾濫)といわれます。
- 外水氾濫**: 大雨によって河川を流れる水が大量に溢れ、道路が水に浸る現象(外水氾濫)といわれます。
- 道路の水**: エンジンが停止したり、ドアが開かないなど、車内から出ることを避けてください。
- 床下・床上浸水**: 流れ込んでくる水は濁水であり、水が引いた後も土砂や汚泥が堆積するため、片付けが大変です。
- 家屋の倒壊**: 河川氾濫では、家屋が倒壊し、命の危険性が高まります。

- ### 凡例
- 避難所
 - 避難場所
 - 病院
 - AED
 - 消防団小屋
 - 防災無線
 - 防災(備蓄)倉庫



注意
貴船区は、1000年に1度程度の大雨でも、浸水深は約1mとなっていますが、2階へ逃られる場合でも、水が引くまで不自由な状況下で過ごさなければなりません。体力や備蓄などに不安のある方は、早めに安全な避難場所へ避難をしてください。